

令和8年6月30日
東北森林管理局治山課
岩手北部森林管理署

岩手県八幡平市における兄川上流（智恵ノ沢）の濁水に係る対応について（お知らせ）

- 東北森林管理局と岩手北部森林管理署は、岩手県八幡平市を流れる兄川にて発生した濁水について現地調査を実施。
- 現地調査の結果、濁水の発生源と考えられる山腹崩壊地を確認したことから、濁水低減のための応急対策と水質調査等を行います。

林野庁 東北森林管理局治山課と岩手北部森林管理署は、岩手県八幡平市を流れる兄川において発生した濁水について、その発生原因を確認し、今後の対応策を検討するための現地調査を実施したので、お知らせします。

- 1 調査日 令和8年6月17日
- 2 調査場所 岩手県八幡平市 岩手北部森林管理署管内 八幡平山国有林 智恵ノ沢沿川
- 3 調査機関 林野庁東北森林管理局治山課、岩手北部森林管理署
- 4 調査結果（位置図、現地状況写真は別紙のとおり）
 - （1） 智恵ノ沢沿川の状況を目視により調査したところ、上流部において濁水の発生源と考えられる山腹崩壊地（推定面積約0.5ha、崩壊幅約50m、崩壊斜面長約170m）を確認。
 - （2） この山腹崩壊は、地熱による熱水変質を受け粘土化した地層（岩石）が経年的な風化作用を受けて不安定化した結果、発生したものと推定。
 - （3） この山腹崩壊の発生に伴い、大量の土砂が智恵ノ沢上流部に堆積（推定約1万8千m³）するとともに、土砂に含まれる細粒分が沢水に流出し、濁水が発生したものと推定。
 - （4） 智恵ノ沢上流部への大量の土砂堆積に伴い、一部沢水の貯留が確認されるものの、流路が確保され河道閉塞は生じていない。
- 5 今後の対応策
 - （1） 応急対策
智恵ノ沢下流部にある既設治山ダム付近に濁水を低減させるための汚濁防止膜を設置。
 - （2） 水質等の調査、モニタリング
智恵ノ沢上流部の濁水発生源付近において、沢水に含まれる物質や水質に係る調査を行うとともに、濁度状況のモニタリングを実施。
 - （3） 土砂流出対策工の調査検討
智恵ノ沢上流部付近に堆積した土砂の流出を抑制するための対策工を検討。

お問合せ先

林野庁 東北森林管理局 計画保全部 治山課

担当者：課長、課長補佐

電話：018-836-2250（直通）

林野庁 東北森林管理局 岩手北部森林管理署

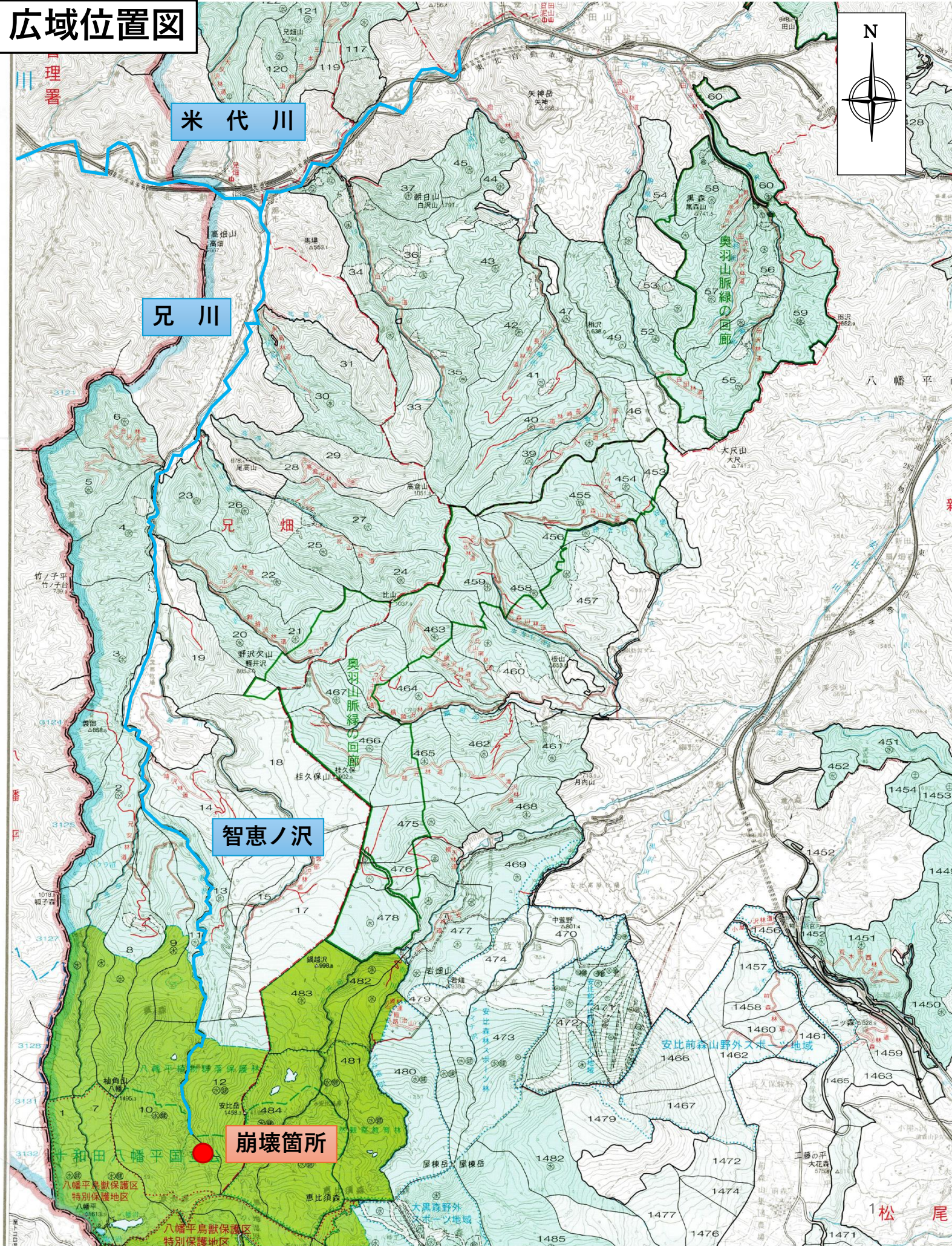
担当者：署長、次長

電話：0195-72-2221



林野庁

広域位置図



米代川

兄川

智恵ノ沢

崩壊箇所



八幡平鳥獣保護区
特別保護地区
八幡平
八幡平鳥獣保護区
特別保護地区

安比前森山野外遊歩道一帯地域
1466 1462 1459 1450 1451 1452 1453 1454 1455 1456 1457 1458 1460 1461 1463 1464 1465 1467 1468 1469 1470 1471 1472 1473 1474 1475 1476 1477 1478 1479 1480 1481 1482 1483 1484 1485

1松尾

詳細位置図



応急対策予定箇所
(※写真は設置後のイメージ)



山腹崩壊地 (全景)



崩壊幅
約50m

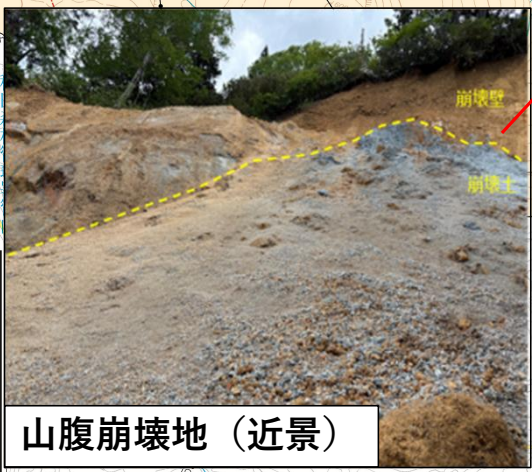
崩壊斜面長
約170m

沢水貯留

土砂堆積
約1万8千m³

安比地熱発電所

草の湯



山腹崩壊地 (近景)



沢水の貯留状況